

平成 24 年 度 同 窓 会 行 事 ・ 業 務 報 告

1. 重点事業

◆東北支部サミットについて

平成 24 年 10 月に南三陸町において、青森、秋田、南東北の 3 支部による、東北支部サミットが開催されました。大学からは、苫米地学長、同窓会本部からは小林会長、常任幹事長、会計担当が参加しました。石巻、南三陸町の東日本大震災の爪痕を視察し、東北地区の復興に向けて各支部が抱えている問題点および同窓会が成し得る事柄について討論が行われました。

◆大学祭における支部出店が増加

大学祭における支部の積極的な出店参加が増加しました。稚内、名寄、網走、北見、帯広（特産品のみの参加）の 5 支部が参加しました。各支部毎にテント 1 ブースまたは 2 ブースが図書館の庭に用意され開催されました。各支部ともに地域の特産品を前面に押し出し、積極的に活動しました。各支部の参加は年々増えており、今後の参加の増加が期待されます。

◆クラブ支部の設立について

クラブ支部の設立が活発化しています。平成 24 年度は硬式野球部支部が総会にて承認され、設立総会は開催され活動を開始しました。また、硬式庭球部、ラグビーフットボール部が設立申請中であり、本総会で承認される予定です。今後もクラブ支部の設立が期待されます。

◆同窓会事務局業務に関する大学の支援体制について

平成 23 年 10 月に小林会長と苫米地学長の間で「平成 24 年 4 月から大学事務局職員が同窓会業務に対して、業務に関する指導・助言を行う」ことの基本合意が得られました。これを受けて、支援体制の具体化の討論が開始されました。同窓会からの要請の骨子は、大学事務局に選任事務員を置き、同窓会事務局の業務を一括して移行することであり、早期の業務移管を求めています。この移管により、継続的な安定したスムーズな同窓会業務の遂行が保障され、大学の各種行事への同窓会の協力がより直結することが期待されます。両者間で移管に向けての具体的な体制の検討が開始されました。

◆北海道尚志学園本部の同窓会への支援について

尚志学園設置校同窓会（工大、薬大、自動車短大、高校、電子専門校）の親睦交流会が、法人本部・西安信理事長、杉田光博常務理事、竹田英世常務理事を迎え開催されました各校から活動状況と問題点が報告され、活発な意見交換が行われました。会の中、本部より同窓会への協力体制の在り方について、議論していくことが確認されました。

2. 年間の行事・業務

平成 24 年度の具体的な行事・業務の内容は次の通りである。